

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月31日(2019.10.31)

【公開番号】特開2019-154806(P2019-154806A)

【公開日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-038

【出願番号】特願2018-45729(P2018-45729)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月23日(2019.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記設定値の変更が可能な設定変更状態と、前記設定値の確認が可能な設定確認状態とに制御可能な状態制御手段と、

所定の可動部と、

前記可動部の動作を制御する動作制御手段と、を備え、

前記動作制御手段は、前記可動部の動作として、前記可動部の原点位置を確認するための確認動作を実行可能であり、

前記設定変更状態に制御されたときに、前記設定変更状態であることを報知する設定変更報知が実行されるとともに、前記可動部が原点位置に存在しない場合に前記確認動作が実行される、遊技機。

【請求項2】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記設定値の変更が可能な設定変更状態と、前記設定値の確認が可能な設定確認状態とに制御可能な状態制御手段と、

所定の可動部と、

前記可動部の動作を制御する動作制御手段と、を備え、

前記動作制御手段は、前記可動部の動作として、前記可動部の原点位置を確認するための確認動作を実行可能であり、

前記設定確認状態に制御されたときに、前記設定確認状態であることを報知する設定確認報知が実行されるとともに、前記可動部が原点位置に存在しない場合に前記確認動作が実行される、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちのいずれかに変化させる設定操作に基づいて、可動物としての役物を初期動作（確認動作としてのロングイニシャル動作）させるパチンコ遊技機があった（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2017-189349号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、特許文献1のような遊技機においては、可動物の原点位置を確認するための確認動作の実行時に、画像表示装置と重なる可動物が動作することにより画像表示装置が見え難くなってしまう虞があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、確認動作の実行時に、画像表示装置と重なる可動物が動作することにより画像表示装置が見え難くなってしまうことを防止することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記設定値の変更が可能な設定変更状態と、前記設定値の確認が可能な設定確認状態とに制御可能な状態制御手段と、

所定の可動物と、

前記可動物の動作を制御する動作制御手段と、を備え、

前記動作制御手段は、前記可動物の動作として、前記可動物の原点位置を確認するための確認動作を実行可能であり、

前記設定変更状態に制御されたときに、前記設定変更状態であることを報知する設定変更報知が実行されるとともに、前記可動物が原点位置に存在しない場合に前記確認動作が実行される。

このような構成によれば、確認動作の実行時に、画像表示装置と重なる可動物が動作することにより画像表示装置が見え難くなってしまうことを防止することができる。

また、上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記設定値の変更が可能な設定変更状態と、前記設定値の確認が可能な設定確認状態とに制御可能な状態制御手段と、

所定の可動物と、

前記可動物の動作を制御する動作制御手段と、を備え、

前記動作制御手段は、前記可動物の動作として、前記可動物の原点位置を確認するための確認動作を実行可能であり、

前記設定確認状態に制御されたときに、前記設定確認状態であることを報知する設定確認報知が実行されるとともに、前記可動物が原点位置に存在しない場合に前記確認動作が実行される。

このような構成によれば、確認動作の実行時に、画像表示装置と重なる可動物が動作することにより画像表示装置が見え難くなってしまうことを防止することができる。

また、(1) 本願発明に係る遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1)であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出(例えばリーチ演出)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば演出制御用CPU120)と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段(例えば演出制御用CPU120)と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である(例えば図9(D)、(F))ようにしてもよい。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。